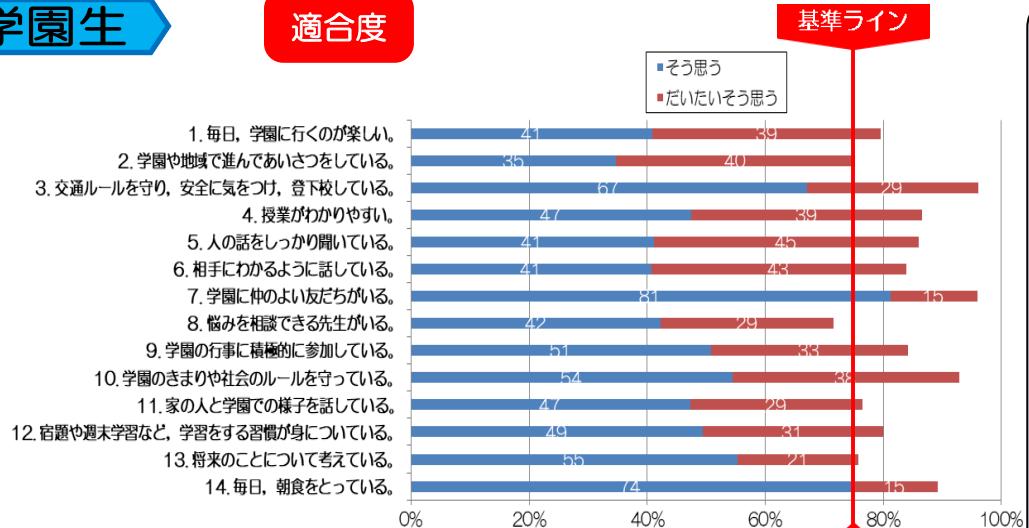


前期学園評価アンケート結果

令和元年
8月実施

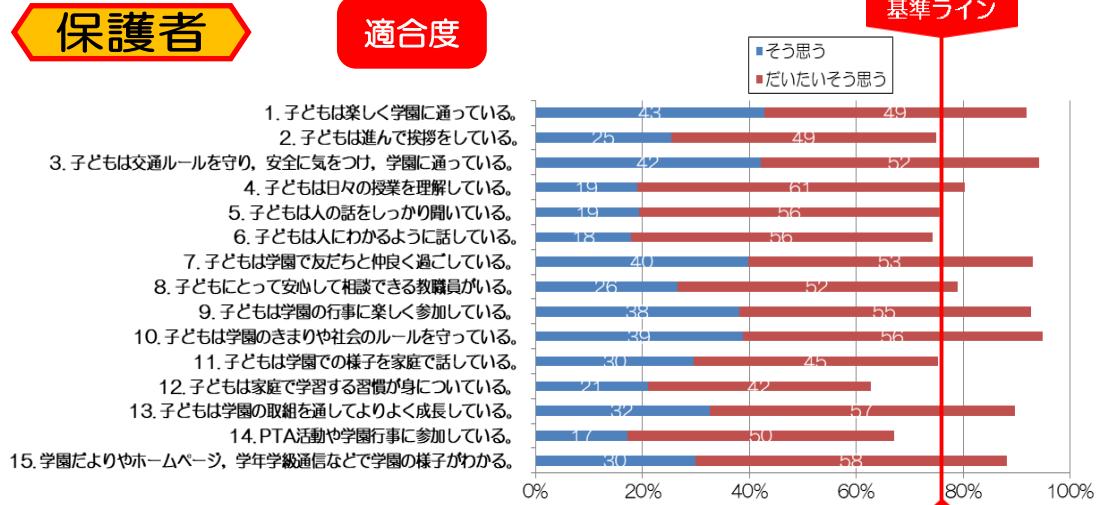
学園生

適合度



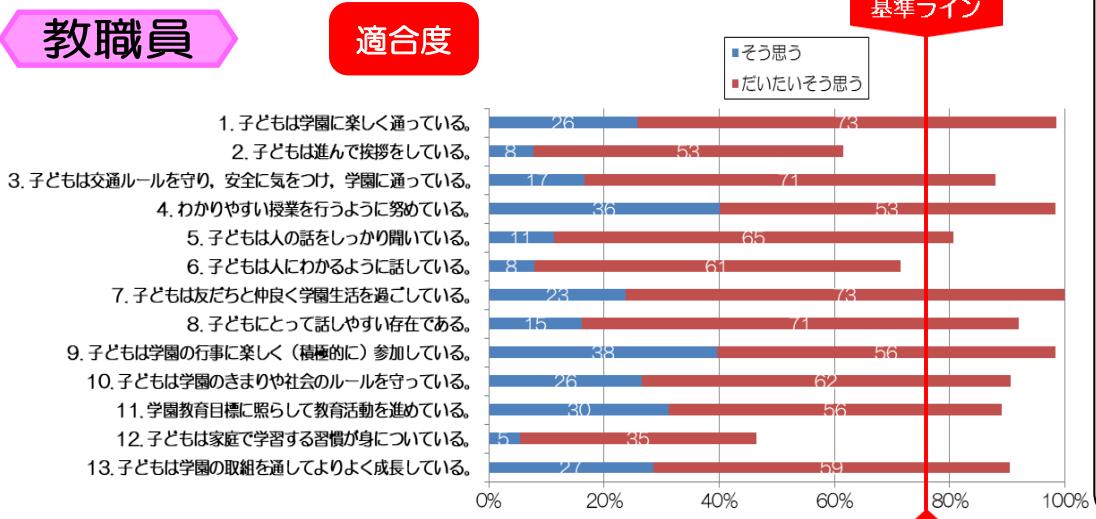
保護者

適合度



教職員

適合度



《結果の見方について》

- ・学園生・保護者・教職員の適合度について、アンケートを実施しました。
- ・肯定的な回答のみ（横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順）をグラフ化し、75%を判断の基準としています。

《結果をもとにしたの考察》

- ・学園生・保護者アンケートでの「交通ルールを守り、安全に気をつけ、登下校している」「学園のきまりや社会のルールを守っている」の肯定的な回答が高く、学園のきまりや社会のルールの重要性を理解し、規範意識が高まっていることがうかがえます。また、「学園に仲のよい友達がいる」の肯定的な回答が高く、友達と良好な関係を築けていることがうかがえます。そして、保護者・教職員アンケートでの「子どもは学園の取組を通してよりよく成長している」の肯定的な回答が高く、子どもたちの姿を通して、学園の教育活動が評価をいただいていくことがわかります。

- ・学園生アンケートでの「家庭で学習する習慣が身についている」の肯定的な回答が昨年度より上回る結果となりましたが、全体的に低い結果となっています。宿題や週末課題、自主学習など、授業と連動した内容にする必要があります。また、保護者の方々との連携をとり、家庭での学習時間を位置づけ、学習習慣の定着を図っていかなければならぬと考えています。

保護者のみなさまには、アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回提出いただいたアンケート用紙は、612枚でした。結果としてはおおむね肯定的な回答が多かったのですが、基準を下回る内容及び自由記述欄にお書きいただいた内容から、保護者の方々のおもいをうかがうことができました。学園運営協議会理事の方からも、地域・保護者の方々のおもいを汲み取りつつ子どもの将来を展望しながら新たな教育課題を乗り越えられる力を付けていかなければならぬとご示唆いただきました。これらのことと踏まえ、子どもを中心に据えた取組であることはもちろんのこと、義務教育学校として9年間の系統性をふんだんに取組を常に見直しながら、子どもをよりよく育んでいきたいと考えています。今後も引き続き、本学園教育にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。